

湘南大庭地区社会福祉協議会

# 福祉のたより

事務局 藤沢市湘南大庭市民センター 電話 (87) 1111

湘南大庭地域の人口 31,661人 世帯数 11,951世帯 (2009年7月1日現在)

育てよう 広げよう 福祉のこころ

社会福祉協議会(略して「社協」)は、私たち地域住民が自主的に参加して組織をつくり、活動に必要な資金を調達し、お互いに役割を分担し協力して活動を行い、地域の福祉を増進することを目的とする民間団体です。

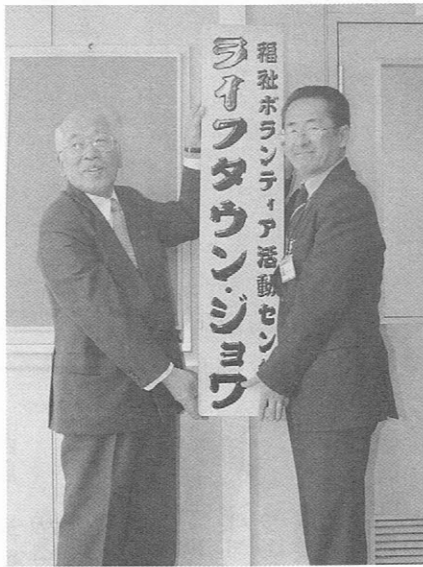
私たちの社協を私たちの手で協力して育み、湘南大庭地区を福祉のゆきとどいた地域にしようではありませんか。

16 x 42 = 672

湘南大庭版

50回記念号

## 「出張！ 市長室」開催



『福祉のたより』は、昭和62年(1987年)3月20日に第1号を発行して以来、22年が経ちました。その間、皆様の温かいご支援とご協力を頂きながら、湘南大庭地区社会福祉協議会(以下「大庭社協」)の活動を皆様にお伝えしてまいりました。

また、創刊以来『福祉のたより』は年に2回の発行でしたが、近年はニュース性を重視し、年に3回の発行に至っております。

大庭社協は昭和61年(1986年)に明治・遠藤地区から分割・合併して誕生し、現在では民生委員部会・青少年対策部会・高齢者福祉部会・生活改善部会・ボランティア部会・広報部会の6部会を構成し、地域諸団体との密接な連携を保ちながら様々な活動を行っております。

広報部会では、毎号、特集記事を組むとともに大庭社協の役割・使命そして理念を伝

えてまいりました。また、一方通行ではなく、常に住民の皆様との双向による意思疎通を心がけ、より安全で安心な社会づくりの一端を担ってまいりました。

この度は、海老根靖典藤沢市長ご自身が、藤沢市の行政プランナー・デザイナーとして市内各地区に出張されプレゼンテーションを行っていただくことをお聞きし、海老根市長と西島会長の対談を企画したところ、タイムイング良く6月26日の午後6時から実現することが出来ました。

なお、対談のテーマは「ボランティア活動」、「高齢者福祉」、「青少年育成」の3点といたしました。

10年後には、3人に一人が65歳以上という市内13地区の中でも最も高齢化が進む湘南大庭地区が、これから目指していく地域福祉とは何かなどを語って頂きました。

また、対談に先立ち、海老根市長による30分間にわたる市政に関するプレゼンテーションが行われました。

その内容につきましては、紙面で概要をご紹介します。

第50回記念号は、海老根市長と西島会長の対談を中心に、住民の皆様にお届けする次第です。

**あいさつ**

西島会長、心から海老根市長を歓迎いたしました。また、我々大庭社協は、地域福祉の推進を大きな命題として取り組んでおります。幸い市長さんご就任以来、市民力・地域力・100cm

目線等のキーワードで市政をすすめておられますが、地域で市民の方々が活動する中でも、特に福祉分野は大きな要素であろうと考えております。

本日は、市長さんのお考えをお聞きし、また実りのあるお話し合いが出来ればと思っております。

**海老根市長** 今日「出張！市長室」ということでこのような場を設定して頂き、大変お忙しい中お集まりくださいましてありがとうございます。

また、西島会長をはじめ皆様方には日頃から地域福祉の推進に大変ご尽力を頂き厚くお礼申し上げます。

先日私、ジャスコ藤沢店で取れ立ての魚を販売させて頂きました。(注：地産地消の一環として片瀬漁港でとれた魚を、4月30日にジャスコが一括販売を行った。)

その時にライフタウン・ジョワを拝見し、西島会長と一緒に看板を着けさせて頂きました。また、ジョワの説明をお聞きし、スタッフの皆様方から地域福祉の推進に向けて、大変なお力添えを頂いて感謝いたします。

実は私、本日本島に行つてまいりました。おかげ様で1年ぶりの出航は、快適な居眠りをした間もなくあっという間に大島に着きました。快調な皆様との歓迎を受け、あんな姿の皆さん達の大歓迎を観光に、楽しい1日を過ごさず、9月には再度募集がひきまします。興味のある方はぜひ応募してください。

# 海老根市長と西島会長の対談

平木

社協広報部会長の平木です。これより「福祉のたより50回記念号」発行に向けて、海老根市長と西島会長の対談を始めます。お二人共どうぞよろしくお願いいたします。

西島

市長には、4月30日にもジョワの事務所に来て頂き、ジョワの看板をかけて頂きました。昭和61年にこの地に、社協ができたころはこんなに高齢化するのは想定していませんでした。地域福祉を考えると我々が動かないと、思い立ち上げました。人材に恵まれたことと、場所を確保できたことで実現しましたが、このことについて、藤沢市全体からみて、市長のご意見をお聞きしたいのですが。

市長

ジョワの活動は、市のモデルです。いろんな地域でジョワの話をしています。藤沢市は、昔から住んでいる人と新しく住み始めた人が混じり合



海老根藤沢市長

い、市民力が素晴らしいと思います。他の地方自治体を見ても、例のないことだと思えます。昔は市民集会があり、市役所の幹部たちが市民の意見を聴く。地元で提案して、市の意見を聴くという流れがありました。ジョワの皆さんはきちんと整備され管理されていると思います。心配なのは、災害が起きた時です。神戸での震災で、助けにいきたくても道路が寸断され助けにいけないかった。だから自分たちで命を救った。行政もできる限り支援しますが、やはり地域でやってもらいたいですね。

西島

湘南大庭はどんな特性があるかというところ、全国各地から人が集まっているので、それぞれの文化が混在している新しい町、意欲のある人が集まっているので、そこを上手に誘導するとうまくいくように思うのですが、ボランティア部会長の内藤さん、やってみたいことがないこととしては、どんな事がありますか？

内藤

助け合いの気持ちで、弱者をなんとかかという出発点だったのが、パソコンや携帯の指導が予想外に多く、必ずしも支援対象が弱者ではない。草取り、家具の移動などもありますが想像以上にパソコンの指導が多いです。

市長

どのような形で指導されていますか？



内藤ボランティア部会長

内藤

パソコンに精通されたボランティアや、レッツ藤沢からボランティアで先生として来てもらいパソコングループができています。自宅へ行って指導し、講習会などは行っていません。

西島

支援する側は、支援内容を想定することが難しいですね。手助けしてほしい側には、いろんな思いがあります。

市長

特に高齢の方は質問するのが苦手なんですよね。教える方は丁寧に説明してあげないといけないので大変だと思います。パソコンの指導も無料ですか？

内藤

すべて無料です。

西島

地域の中で、互いに助け合うことで出来たものなのでボランティアです。必要経費などは支払ってもらいますが、原則として無料ということをやっています。



市長 ある地区では有料にしたいから、よろしくと言われるのですが、ボランティアでいいという地域もあり、不平等になってしまいます。入浴券なども、お風呂屋さんが無い地域は使うこともできず、全地区平等にということは難しいですね。

西島 ボランティアの支援者も年をとっていきますから、若い人に引き継いでいき、つないでいかないとダメですね。まだ、開設して半年なので急がずじっくりやっていきたいと思っています。

平木 これからの課題は？

内藤 今のところ、支援が少ないことですね。半年で30件、月に5件のペースなので、もう少し増えるといいのですが、活動を知ってもらうことが、なかなか難しい。今まで「福祉のたより」で3回宣伝してもらっていますが、なかなか伝わらない。鶴沼の「ボランティアささえ」ではホームページを開設し、9000件のアクセスがあるそうでジョワでも早くホームページを立ち上げたいと思っています。

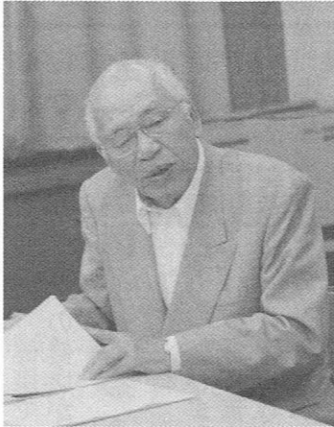
平木 もうすぐ、団塊の世代がリタイアして参加してくれるといのですが。

内藤 その団塊の世代を巻き込むのは難しいですよ。アンケートでは1600人がボランティアに関心があるながら、実際は60人。潜在力はあるので、そこをなんとかしたいですね。

西島 団塊の世代の人たちに、ボランティアで地域デビューしてもらいたいですね。

平木 続いて青少年育成に関してお聞きします。

西島 青少年の健全育成に関して私たちの地区にも青少年育成協力会があります。常々、ライフタウンで育った子ども達に



西島会長

この地区が故郷になるように、また、ライフタウンで育った若者がそのまま留まり、元気な若者の多い所にしたと思うています。藤沢市は他市に比べると子どもの増加がみられると思いますが、いかがですか？

市長 生活保護世帯や要保護家庭が年々増えている状況です。親や先生が忙しく、子ども達と十分にコミュニケーションを取ることが出来ないのでは無いでしょうか。大庭小学校へランチミーティングに伺った時、「ことばの学校」についてお聞きしました。コミュニケーションの取れない児童・順番が守れない児童などに指導を行うよう、言葉の教育を大事にされていました。

西島 学校へ参加する親はほとんどが母親で、子育てに父親の参加が少ない様に思いますが、その辺りはどう感じていますか？

市長 地区の「市民の家」ではお母さんと子ども達の集まりがとても盛んであるのに、お父さんの参加は少ないですね。

「おやじの会」を立ち上げた事があるのですが、初めは尻込みしていたお父さんたちも集まりはじめたら子ども達に元気を与えるようになり、今も継続しています。

市内での保育園入園希望者の待機人数が増えているので、施設を考えなくてはならないが現状は難しいです。今後は、シニアパパやシニアママといった一時的にお子さんを預けられる場を提供出来る制度も必要となってくると思います。

西島 ここ湘南大庭地区は全国から集まってきた住民が多くそれぞれが持ち寄ってきた文化がより良い地域を作ってきている。これから先、次の世代にも繋げていけるような町にしていきたいと思っています。

平木 これにて対談を終了いたしました。皆様ありがとうございました。



進行役の  
平木広報部長

**市長プレゼンテーション**

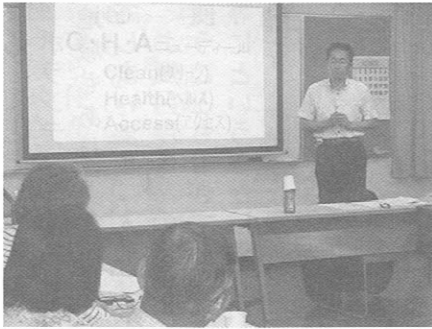
藤沢市のこれからの方向性、また取り組む事業等について、お話しさせていただきます。  
最初にはまず、藤沢市の鳥は何でしょうか？

それはカワセミです。  
これは「カワセミ君」といいます(株)カワセミジャパンからデザインを頂きました。

**◎ニューデイル**

藤沢市の今年のコンセプトは、『C・H・A』ニューデイルです。

Cはクリーン、環境です。環境問題は大変な課題です。これは地域ぐるみで積極的に取り組まねばならないと考えています。この近辺では昨年石川丸山地区の環境浄化によりホテルが見られるようになり  
ました。  
また、市役所では緑化施策として  
ゴーヤを植えてお  
りますの  
で、来庁  
の折には  
ぜひご覧



ください。

Hはヘルス、健康です。健康で長生き出来る、市民の皆様の健康が何より大事です。

Aはアクセスです。

最近松下電器が撤退しましたね。その前には関東特殊製鋼が撤退しましたし、武田薬品も一時撤退しました。大企業が何故藤沢から撤退したのか、やはり道路事情がよくない事が起因しているのではないのでしょうか。企業の撤退で働き場が減ると、どうしても活力が失われてしましますね。

**◎3つのCHA**

私は、3つの『CHA』を基本としております。

1つ目はチャンスです。  
昨今の不況下でもダメだダメだと考えず、チャンスと捉えたい。削る事や慎ましくやっていく事も大切ですが、チャンスと考える積極的にいきたいですね。

2つ目はチェンジです。

時代はどんどん動いています。これから総合計画の見直しに入りますが、地域の代表の方にも参画して頂いて『百人委員会』を組織します。

3つ目はチャレンジです。

私たちの自戒という戒めの言葉です。よくいわれる事ですが、公務員はマイナス減点主義だから何もしない、ではいけないのです。どんどん積極的にチャレンジしていく姿勢が大変重要ですよ。

**◎市民目線の施策**

今年から小児医療費が小学6年生まで無料となりました。子育て世代の安心と安全は欠かせません。

また、市民経営の推進、もちろん無駄をなくし、無理をしない事が重要です。

私の推奨する「100cmの目線」(子どもの目線、高齢者のツエの長さ、車椅子の目線を意味していません。)で、まちづくりを考えていくということですよ。

**◎地域主体のまちづくり**

本庁中心ではなく、地域の特性を活かしたまちづくりを行っていくということですよ。権限だけでなく予算もつけさせて頂き、湘南大庭ならではの使い方を考えて頂きます。また、広域連携のまちづくりも必要です。大和市とは河川を主に、茅ヶ崎市とは海岸線を主に環境問題を共同で考え神奈川県に要望しています。

**◎地域経営会議**

今年、湘南台地区をモデル地区として、これからは市内全地区で組織されるものです。地域の事は地域で決めるという地域主導を原則として権限・財源・予算もつけさせて頂く、そして、何よりも地域の特性に応じた経営をお願いしたいと考えています。

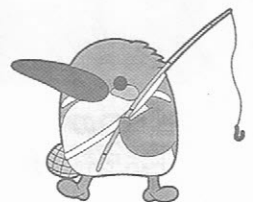
**◎カワセミ君**

カワセミ君が取り付けてある自動

販売機では災害時には自由に飲み物を取り出すことが出来ます。また、

同社からは毎年200万の水1万本を寄付していただきます。防災協力金として各地域に5万円の寄付も頂いております。

さらに、カワセミ君の自動販売機の電光表示部は災害通報やその他の地域情報をテロップとして流す事が出来ます。



**◎高齢化対策**

藤沢市では40万人の全人口に対して、現在の高齢化率は19%となっております。(人数は8万人弱)しかし、団塊の世代の方が加わって5年後には25%になると予想されます。湘南大庭地区は、市内全地区の中でも高齢化率の特に高い地区になると思います。

特別養護老人ホームを例としますと、現在市内に11施設があり総定員は748人ですが、待機者は既に1200人に近づいています。湘南大庭地区では来年度建設予定ですが市内各地区に1つは欲しい。また、地域包括支援センターも現在8箇所ですが、これも全地区に開設したいと考えています。(一部紙面の都合上、割愛させていただきます。)



平成21年度

# 湘南大庭ふれあいフェスタ



6月20日（土）の午後、今年も約150人の方が参加して開催されました。

『「出会い・ふれあい・支え合い」をモットーに、今日は一人でも多くの知り合いを増やしてください!』との西島社協会長の挨拶でスタートしました。

今回も、湘南大庭地区を拠点に活動している7つのグループに出演して頂きました。

第1部は大庭ジュニアジャギーの愛らしいダンスに始まり、スイングバードのジャズ、グリーン・ハーモニーの素敵な女性コーラスまで。そして、第2部はカニカピラのハワイアンに始まり、フォークフレンズの懐かしい青春ソング、今回初登場のオカリナコンドル会の美しい調べ、そしてトリは大庭八寿花会の素晴らしい舞踊と盛り沢山でした!

参加者の皆さんは、少し前?の若かりし頃を思い出し、一緒にリズムを取ったり歌ったりと、会場の雰囲気も上々でした。

初めて参加された方からは「近所の方が出ていてビックリした。」「歌や楽器に踊りにと文化的芸能が訴える力をしっかり受け止めることが出来た一時でした。」「元気一杯な小学生達と一緒に行ったグーパー運動はとても楽しく可愛かった。」等々お褒めの言葉に加え、裏で頑張った従事者の方々に対しご苦労様の声かけも頂きました。

湘南大庭地区でも、急速に高齢化が進んでいます。

「ふれあいフェスタ」は隣近所・地域の結びつきを満ち、楽しいライフスタイルが描けるようなステキな街にする一歩ではないでしょうか。来年も元気にお出掛けくださいませ。



## ☆地区内中学校長との 情報交換会

7月6日に今年度第一回目の地区内小・中・高等学校長との情報交換会が開催されました。この情報交換会は、4年ほど前から年2回開催されており、校長先生方と社協の青少年対策部会、防犯協会、青少年育成協力会の役員の方々が、児童生徒の学校内外での情報を共有して彼らの保護や健全育成を目指し学校や保護者だけではなく、地域でも協力していこうではないかと始められたものであります。

今回の会議では、参加8校の校長先生の自己紹介に続き、3団体の各会長からの今年度の事業計画や活動内容の説明がありました。社協・西島会長は、「地区内1万2千世帯のうち47自治会、約9千8百世帯（約85%）の方々に参加して頂き活動をしています。特に中学生諸君には、『敬老会』や『ふるさとまつり』の福祉バザー』のボランティアとしてお手伝い頂いており大変感謝申し上げます。お願ひしたいと思っております。」、防犯・田村会長は、「地区内では1,030名の防犯パトロール隊員が活動している事、青色パトロール

車10台（藤沢市内全域では20台）を保有しての巡回パトロール等を通じて地域の防犯活動を推進しておりなかでも、児童生徒の安全・安心を重視して活動して行きたい。」、青少協・中田会長は、「『春一番の音楽会』・『子どもまつり』・『遊ing西高』等にご協力頂き、これらの行事がいつも盛況に行われる事を感謝いたします。」との事でした。

各学校児童・生徒の生活状況等については、各校とも校内における生活態度は落ち着きが出て来ており良い方向に進んでいるようですが、学校外での生活においては一部問題があるようです。例えば、万引き、喫煙、バイクの無免許運転、深夜の徘徊等で補導されても保護者には連絡がいくが、学校には何の連絡、情報も入らないそうで学校が知った頃には対応が遅れてしまう事もあるようです。個人のプライバシーの保護という点もあり、非常に難しい問題だと思われました。また、児童生徒に限らず自転車の運転マナーの問題があります。折に触れて指導していきたいとの事です。以上ほんの一部ですが紹介させて頂きました。



## ライフタウン・ジョワの活動

高齢者や障がい者などの日常生活上の困りごとへの手助けや生きがいづくりなどの支援を目的とした福祉ボランティア活動センター「ライフタウン・ジョワ」は、発足以来およそ7か月を経過しました。この間、さまざまな要望やご意見を頂き、住民の希望するボランティア活動をより効率的に進めるよう調整を重ね、ようやく活動が軌道に乗りつつあります。5月からは新ボランティア（支援会員）11人も加わって頂き、住民のご要望に応えております。

発足以来のこれまでに活動したボランティア活動を整理すると次の通りになります。今後とも住民の皆様のご期待に応えられるよう努力してまいります。ボランティアの手助けや支援をご希望の方は、ライフタウン・ジョワへご相談ください。  
(☎86-1084)



ボランティア活動実績表  
(平成20年11月～平成21年6月)

ボランティアの種類	ボランティアの内容	件数	延べ時間	ボランティア数(延べ人数)
A 日常生活の手助け	家具の移動	6	6.5	16
	庭の草取り	10	14.0	27
	電球の取替え	3	2.0	6
	買い物付添い	1	2.0	2
B 生きがいづくり支援	パソコンの指導	11	20.0	22
	話し相手	3	3.5	6
	散歩の付添い	3	3.5	6
合計		37	50.5	85

### ライフタウン・ジョワのホームページが開設されます!

ライフタウン・ジョワでは、ライフタウンにお住まいの方のみならず多くの方々にボランティア活動の状況を知って頂き、今後の活動に反映したいと考えております。

今年8月1日から、湘南大庭地区社会福祉協議会ホームページにリンクしてライフタウン・ジョワのホームページが開設されますので、ご覧ください。

\* ホームページアドレスは

<http://www.shonanfujisawa.com/~lifetown-jowa/>

# 平成21年度社協定期総会

5月9日(土)午前10時から、湘南大庭市民センター小ホールにおいて『定期総会』が開催されました。出席者は理事及び評議員103名で、次の議案が承認決定されました。

- ①平成20年度事業報告、収入支出決算の認定及び監査報告
- ②平成21年度事業計画(案)、収入支出予算書(案)
- ③協議会規約の一部改正(案)
- ④役員及び理事の選出(案)

なお、定期総会にさきがけて『理事会』が5月1日(金)午後7時から、理事84名が出席して開催されました。

★平成21年度役員は次のとおりです。

- (会長) 西島 恒博
- (副会長) 南 英毅
- (会計長) 川口 富作
- (監事) 竹中 伸寛
- 市塚 路子
- 古橋 秀子

(常任理事)

- 白井 嘉充・都築 眞裕美・森もと江
- 大滝 志津子・高須 喜代美・真野 謙三
- 齋藤 富士雄・端山 正明・武内 咲子
- 鈴木 正治・中塚 千恵子・山野 國雄
- 田村 守孝・内藤 惇之・平木 喜一郎
- 山崎 保生・石井 巖・櫻井 博和

(敬略称、残任期間は1年)  
※その他理事 90名・評議員33名  
合計147名

## ★地域団体の紹介(1)

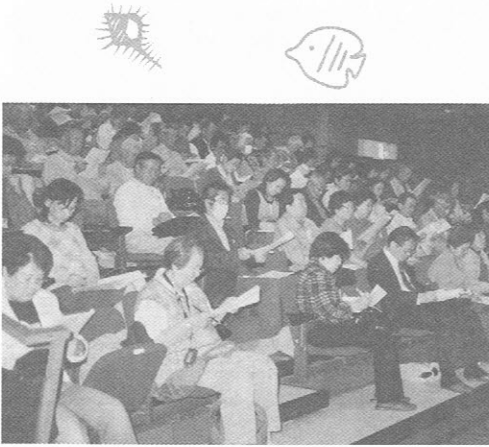
### 「湘南大庭地区自治会連合会」

平成19年12月に結成されました。市内13地区で唯一、湘南大庭地区だけが未結成でした。

(組織) 地区内自治会・町内会で組織

(理事) ①自治会長・町内会長等

②地区内在住で自治会・町内会活動に強い関心を持ち役員会が推薦し総会で承認された者



(事業) ①自治会・町内会活動に関する啓発事業

②自治会・町内会相互における活動強化及び連絡調整等

(役員) ※敬略称 ( )内は自治会等

- 会長 川口 富作 (羽根沢)
- 副会長 都築 眞裕美 (やまゆり)
- 西島 恒博 (コーポ城山)
- 会計 高田 潤一郎 (湘南小系第二)
- 書記 本間 正宏 (小ヶ谷)
- 水島 茂雄 (羽根沢第一)
- 新藤 祐平 (睦会)
- 稲島 庸夫 (滝の沢)
- 永留 健二 (Eブロック)
- 小出 晶夫 (第一駒寄)
- 加納 行生 (表郷)
- 川原 田武 (湘南西部)
- 竹中 伸寛 (さつき)
- 目黒 清江 (第一駒寄)
- 吉川 友章 (コーポ駒寄)

### ★川口会長のコメント

「今年度から役員が7名増えました。主催事業には地域の諸団体代表者会議や新春のつどいなどがありますが、地区内自治会・町内会の相互交流を活発に出来ればと思っています。また、地区内の諸課題にも積極的に取り組んでまいりますのでよろしくをお願いいたします。」

### \*平成21年度社協主要事業

- 5月・理事会、定期総会
- 6月・日本赤十字社員増強運動事業
- 7月・湘南大庭ふれあいフェスタ
- 8月・地区内小学校長との情報交換会
- 9月・福祉のたより50回記念号発行
- 9月・地区敬老会(12日)
- 前期視察研修会
- 10月・介護予防教室Ⅰ(4回)
- 10月・福祉バザー(24・25日)
- 11月・赤い羽根共同募金事業
- 11月・介護セミナー(6回)
- 12月・年末たすけあい共同募金事業
- 合同視察研修会
- バザー収益からの寄付金贈呈
- 福祉施設、団体との懇談会
- 福祉のたより51号発行
- 1月・新春のつどいに協力(9日)
- 2月・介護予防教室Ⅱ(4回)
- 3月・後期視察研修会
- 新入学児童への祝品贈呈
- 福祉のたより52号発行

(年間を通じて)

- ★「ライフタウン・ジョワ」の運営
- ★地区社協リーフレットの作成
- ★その他地域団体への支援協力等



# 子どもまつり



7月18日(土)に地区青少協主催で開催されました。雲の多い夏休み初日。「かき氷はどこですか?」取材をして歩く中、幾人もの子ども達に尋ねられました。しのぎ易い曇天とはいえ、やはり人気No.1でしたね! 対戦相手の大人が両手で顔を覆う場面が見られた囲碁、相当の実力者かな?と思われる高学年男子、食べ終えたポップコーンの空き紙コップを掲げ、「ゴミ箱はどこ?」という問いかけに「お持ち帰り、お土産だねー」の予想外の答えに何ともいえぬ笑顔。

たくさんさんの室内ゲームとともに、屋外では竹細工やカラーキャンドルづくり、シャボン玉も高く飛んでいました。約300名のにぎやかな声に、館内外が包まれた半日でした!



ポップコーンあり



## ◎日赤社資の結果

5月1日から31日まで「日本赤十字社員増強運動」が全国的に実施され、湘南大庭地区でも多くの浄財が集められました。  
(総額1,731,184円)  
皆様方のご協力に厚くお礼申し上げます。

## ◎共同募金の予告

10月には「赤い羽根」の、12月には「年末たすけあい」の両共同募金が、それぞれ実施されますので地区内の皆様方のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

## ※今後の主な事業予告

### ★地区敬老会

9月12日(土)  
80歳以上の地区内在住者が対象です。担当の民生委員さんが各個人に出席を確認いたします。

### ★介護予防教室

9月17日(木)～10月8日(木)  
50歳以上対象。全4回  
※口腔ケア、ヨガ体験  
健康ストレッチ、シニアピクス。

### ★慶応大学との

#### 共催講演会

9月27日(日)午後1時～4時  
講演テーマ「50歳からの使いやすしい家電製品選び」  
講師―慶大環境情報学部  
福田亮子専任講師

### ★福祉バザー

10月24日(土)～25日(日)  
奇贈品の提供とお買い上げにどうぞご協力ください。

### ★介護セミナー

11月～12月  
家庭介護の入門編。初受講の方を対象。全6回(定員20名)

### あとがき

第50回記念号は、6月26日に開催された「出張!市長室」を特集し、通常の4ページを8ページに増やして発行いたしました。対談を文章化する事は簡単なようで大変難しい作業だと痛感させられました。来月からは「介護予防教室」をはじめ多くの事業が開催されますので、ぜひ参加してください!

### ◎今年度の広報部会委員です!

- 部長 平木喜一郎(常任理事)
  - 副部長 櫻井 博和(常任理事)
  - 八木 京子(さつき)
  - 松村 忠義(ふじ会)
  - 松山志津枝(南原)
  - 森 ちえ子(和会)
  - 濱本 律子(羽根沢第三)
  - 小林 七郎(湘南西部)
  - 大場満寿美(コーポ城山)
  - 功力 恵子(小糸団地)
  - 廣瀬健次郎(民生委員)
  - 吉村喜美江(民生委員)
  - 汐谷美樹子(民生委員)
  - 鈴木 啓子(民生委員)
  - 富永 宏子(規約理事)
  - 三浦留美子(規約理事)
  - 渡邊コト子(規約理事)
- ( )内は自治会等